

変形性関節症の「痛み」大解剖

日時

2020年12月18日(金) 11:55~12:55

会場

第11会場 神戸国際会議場 5F 504+505

〒650-0046 兵庫県神戸市中央区港島中町6-9-1

本セミナーはライブ配信による視聴が可能です。公式ホームページより事前参加登録を行いご視聴ください。
<http://www.congre.co.jp/joskas-jossm2020/index.html>

座長

近畿大学 医学部 整形外科学教室 主任教授

赤木 将男 先生

「変形性関節症の画像所見と痛みとの関連」

演者

医療法人社団淳朋会 変形性関節症センター センター長
千葉大学大学院医学研究院整形外科学講座 客員教授

渡辺 淳也 先生

「変形性関節症の 炎症性メディエーターと痛みとの関連」

演者

島根大学医学部 整形外科学講座 教授

内尾 祐司 先生

ご参加の皆様には、お弁当をご用意しております(数に限りがあります)。

<日本整形外科学会教育研修講演> ■認定単位：(Re) 教育研修会運動器リハビリテーション単位
■必須分野：[1] 整形外科基礎科学
[12] 膝・足関節・足疾患

「変形性関節症の画像所見と痛みとの関連」

医療法人社団淳朋会 変形性関節症センター センター長 千葉大学大学院医学研究院整形外科学講座 客員教授 **渡辺 淳也 先生**

変形性関節症（OA）に伴う関節の痛みは、日常生活活動に大きな障害となるため、高齢化社会を迎え社会問題化している。OA で認められる関節痛には、様々な要因が複合的に関与するとされる。したがって関節痛を効率的に抑制するためには、個々の症例における痛みの原因を見極め、適切な対処法を選択することが重要である。

OA ではその進行とともに特徴的な画像所見が出現する。単純 X 線は OA の診断や病期分類に広く用いられるが、関節痛と必ずしも関連しないことが示されている。一方、MRI で認められる異常所見のうち、半月板断裂、骨髄浮腫、関節水腫を伴う滑膜炎などは関節痛と関連することが示されており、痛みの原因の推測に有用と考えられる。本発表では、膝関節を中心に OA に関連する画像所見の鑑別及び関節痛との関連についてレビューするとともに、痛みの原因と対処法の選択について解説する。

「変形性関節症の炎症性メディエーターと痛みとの関連」

島根大学医学部 整形外科学講座 教授 **内尾 祐司 先生**

変形性膝関節症（膝 OA）は、メカニカルストレスがトリガーとなった、軟骨・滑膜・骨・免疫細胞を巻き込む慢性炎症であり、この悪循環が病態を進行させる。また、慢性化による疼痛関連メディエーターの産生増加は、末梢性感作や中枢性感作および解剖学的リモデリングを引き起こして慢性疼痛を修飾する。すなわち、これらは自由神経終末における侵害受容器の閾値を下げて感度を高めるとともに、神経細胞体の substance P などの生成を高めて、神経性炎症 neurogenic inflammation を生じる末梢感作を招く。一方、脊髄後角でのシナプスでの痛覚過敏や脊髄内のミクログリアの活性化、下行性疼痛抑制系の機能低下などによる中枢性感作も招来する。加えて、関節での痛覚神経発芽による解剖学的リモデリングが痛覚過敏を助長する。明らかになりつつある疼痛発生機序に基づいた治療が今、膝 OA にも求められている。本講演では、膝 OA における慢性疼痛の発生機序の病態と治療戦略について述べる。
